

Be Fine!

株主の皆様とシスメックスをつなぐコミュニケーション誌

特集

中期経営計画における3つの成長戦略

成長戦略③ 新興国での事業拡大 5ページ



新生産拠点を設立したインドグジャラート州の階段井戸「ラーニー・キ・ヴァーヴ」→6ページご参照

IFRS ※当社グループは2017年3月期より国際会計基準(IFRS)を適用し、IFRSに準拠して開示しております。
 ※2022年3月期に、クラウド・コンピューティング契約におけるコンフィギュレーションまたはカスタマイゼーションのコストについて、サービスを受領したときにそのコストを費用として認識する方法に変更しています。

過去最高の売上高・ 営業利益・当期利益*を 達成しました。



代表取締役社長

浅野 董

あさの かおる

【出身地】兵庫【略歴】大学院を卒業後、川崎重工工業株式会社に入社。その後、1987年東亜医用電子株式会社(現シスメックス株式会社)に入社し、2009年執行役員中央研究所長、2017年取締役専務執行役員を経て、2023年現職に就任。【趣味】陶芸、将棋【信条】雲外蒼天

ポイント1 売上高は、全地域で増収、5,000億円を達成

ポイント2 営業利益は、増収による粗利の増加などにより、2桁伸長

ステークホルダーの皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの2025年3月期通期業績は、ヘマトロジー分野*のフラッグシップモデルのグローバル展開が好調に推移したことや新興国での成長機会の獲得などにより、全地域で増収を達成しました。営業利益は、増収による粗利益の増加に加え、販管費等の適切なコントロールや円安の効果もあり、2桁伸長となりました。

売上高は前年同期比10.2%増、営業利益は同11.7%増、当期利益は8.1%増となり、いずれも過去最高を達成しました。

事業別では、ダイアグノスティクス事業は全分野において増収しました。特に、ヘマトロジー分野では、フラッグシップモデルが日本をはじめ、EMEAなどグローバルにも市場導入が進み、好調に推移しました。また、血液凝固分野は米州・EMEAでの直接販売効果により順調に伸長しました。

メディカルロボット事業は、日本国内での設置増加に加え、

アジア・パシフィック市場への導入も着実に進んでいます。2025年3月期にはグローバルの累計導入数が89台、累計症例数は9,400例に達し、手術数も順調に推移しております。国内にとどまることなく、積極的に海外への展開も進めてまいります。

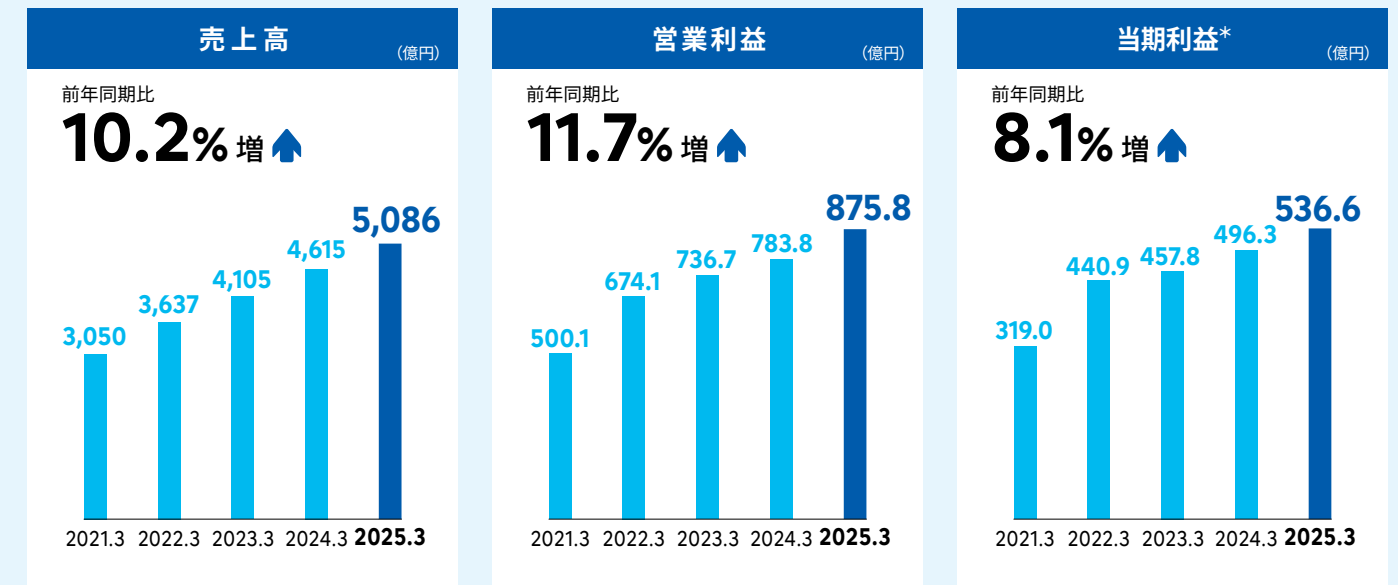
2026年3月期は、インドにおいて機器と試薬を生産する新工場を稼働させるなど、新興国ビジネスの拡大を加速させていきます。なお、連結業績予想につきましては、売上高は5,350億円、営業利益は915億円、当期利益は570億円、引き続き過去最高の増収増益を見込んでいます。*

配当につきましては、2円増配し、1株につき年間32円を予定しております。また、株主の皆様への還元強化を目的に、2026年3月期より、配当性向を30%から40%目処へ変更し、累進配当といたします。

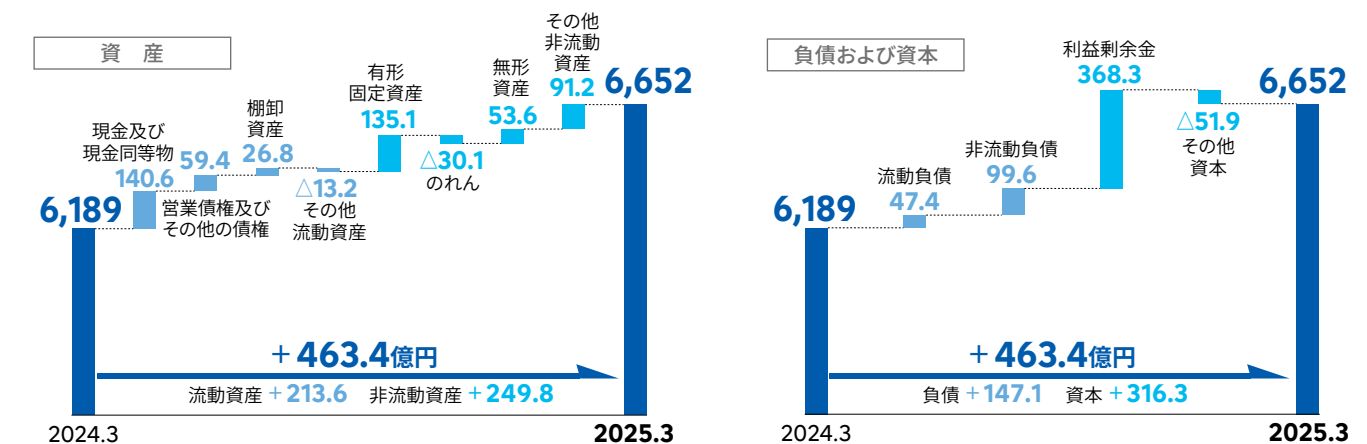
ステークホルダーの皆様には、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

※ 想定為替レート：1USドル=142.0円、1ユーロ=160.0円、1中国元=19.5円で算出

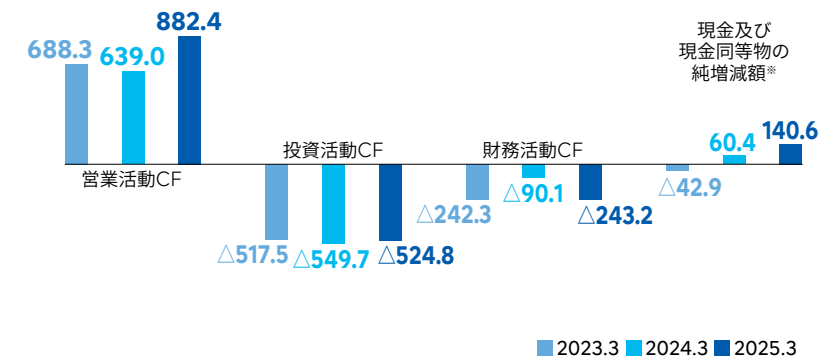
*当期利益：親会社の所有者に帰属する当期利益。



連結財政状態計算書の増減要因 (億円)

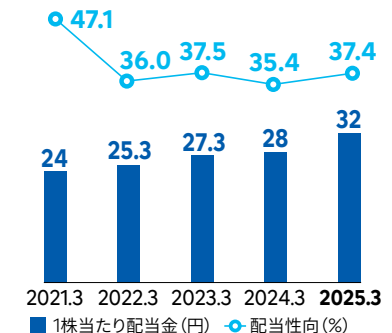


キャッシュ・フローの推移 (億円) ※現金及び現金同等物に係る換算差額も含まれております。



1株当たり配当金/配当性向

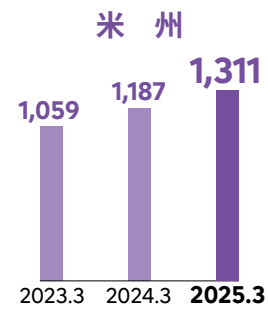
※2024年4月1日分割後ベースに換算



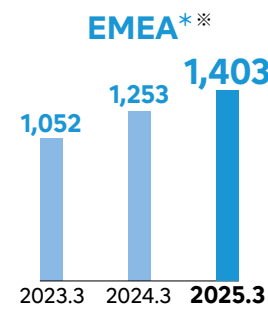
利益配分(配当)に関する考え方について：当社は、安定的な高成長を持続させるための積極的な投資と、収益性の向上に伴う株主の皆様に対する利益還元との適正なバランスを確保することを目指しております。株主還元については、継続的な安定配当に留意するとともに、業績に裏付けられた成果の配分を行うという基本方針のもと、連結での配当性向30%を目処に配当を行ってまいります。

IFRS ※当社グループは2017年3月期より国際会計基準(IFRS)を適用し、IFRSに準拠して開示しております。

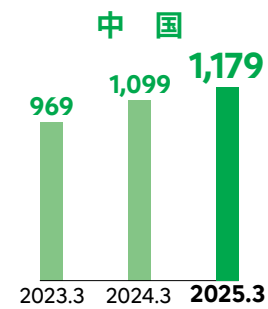
地域別売上高 (億円)



前年同期比 **10.4%増** ↑
 現地通貨ベース **4.8%増**
 機器売上は北米での納品遅延などにより減収となるも、機器設置台数増加に伴い全分野の試薬売上が伸長し、増収。

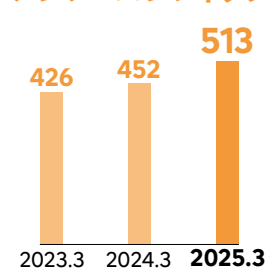


前年同期比 **12.0%増** ↑
 現地通貨ベース **7.4%増**
 機器売上は、ヘマトロジー分野の新製品導入が好調に推移。さらに試薬は、ヘマトロジー・尿に加え、直販が好調な血液凝固分野において2桁伸長し、増収。

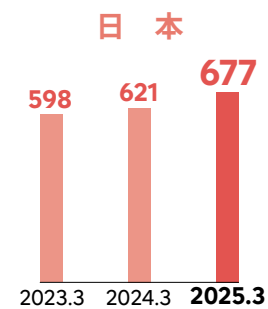


前年同期比 **7.3%増** ↑
 現地通貨ベース **3.1%増**
 機器売上は主要製品のノックダウン生産の開始により下期2桁成長を達成。試薬売上はヘマトロジー・血液凝固分野を中心に伸長し、増収。

アジア・パシフィック ※

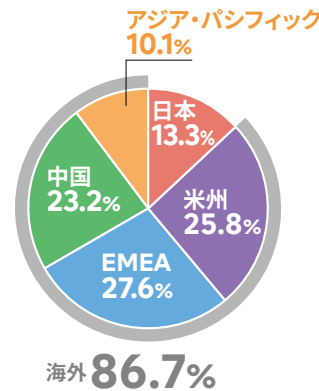


前年同期比 **13.5%増** ↑
 機器売上はヘマトロジー分野がインドを中心に伸長。試薬売上は各国での機器設置台数の増加に伴い、全分野で2桁伸長し、増収。メディカルロボット事業の展開も順調。

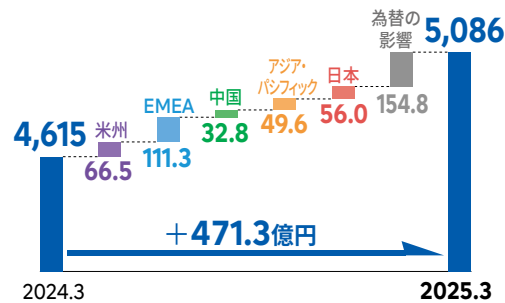


前年同期比 **9.0%増** ↑
 ヘマトロジー、血液凝固分野が機器・試薬ともに2桁伸長するなど好調に推移。メディカルロボット事業も導入台数・症例数の増加に伴い売上が拡大し、増収。

地域別売上高構成比



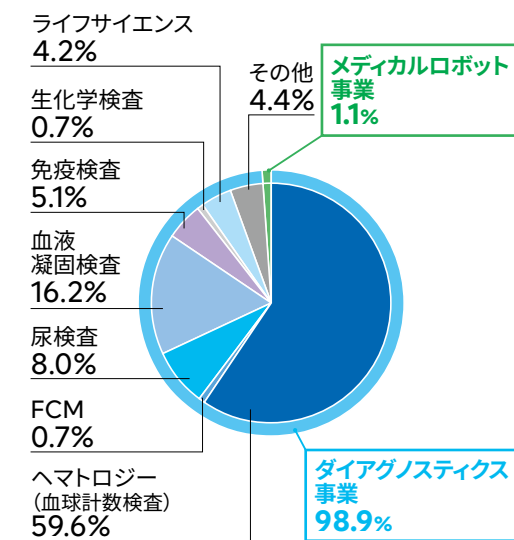
地域別売上高の増減 (億円)



為替レート (円)

	2023.3	2024.3	2025.3
1 USドル	135.5	144.6	152.6
1 ユーロ	141.0	156.8	163.8
1 中国元	19.8	20.1	21.1

事業別売上高構成比



*EMEA: 欧州、中東、アフリカ地域。 ※ロシアの売上はEMEAからアジア・パシフィックに組み替え。

医療の未来を創り、支える。シスメックスの人たち

長期ビジョン「より良いヘルスケアジャーニーを、ともに。」のもと、医療の未来を創り、支えるために奮闘する従業員のインタビュー動画を公開しました。それぞれが自身の使命や未来への決意を語っています。ぜひご覧ください。



Interview
医療を持続可能にする検査室の開発



Interview
医療を止めない、検査を止めない



Interview
Made in Japanの
高品質を世界中へ



Interview
がん治療に
新しい選択肢を



Interview
認知症早期診断、
実現への扉

こちらから
従業員のインタビュー動画の
ダイジェスト版が
ご覧いただけます。



PDF版では従業員の画像をクリックいただくと、より詳細なインタビューをご覧いただけます。

「Sustainability Yearbook 2025」においてシスメックスが上位1%に選定

S&Pグローバル社は毎年、ガバナンス・経済、環境、社会の観点から企業のサステナビリティを評価し、特に優秀なサステナビリティ先進企業を掲載・表彰する「Sustainability Yearbook」を発行しています。2025年は62セクターの世界7,600社以上を評価。シスメックスは「Health Care Equipment & Supplies」セクターで最高評価の「上位1%」に選定されました。

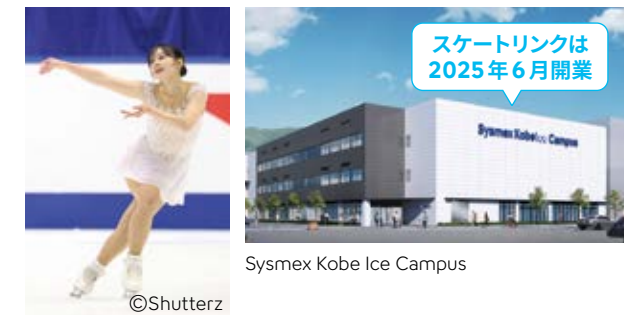


「Sustainability Yearbook Annual Forum 2025」授賞式の様子

「Sysmex Kobe Ice Campus」オープン&三宅咲綺選手と所属契約を締結

シスメックスはアスリート育成に寄与するとともに、地域の皆さまにスケートに親しんでいただくため、神戸唯一の通年型アイススケートリンクのネーミングライツを取得しました。

また、世界での活躍を目指して挑戦を続ける三宅咲綺選手も2025年4月に所属契約を締結し、その挑戦をサポートしています。



スケートリンクは2025年6月開業

Sysmex Kobe Ice Campus

EXPO2025 大阪・関西万博への協賛

シスメックスはテーマ事業「いのちを拓げる」にシルバーパートナーとして協賛し、シグネチャーパビリオン「いのちの未来」の展示アイデアを他の協賛企業と共に創出しています。ぜひ足をお運びいただき、50年後の未来を体験してください。



©Expo 2025

中期経営計画における3つの成長戦略

成長戦略③ 新興国での事業拡大

シスメックスは中期経営計画（2024年3月期～2026年3月期）において、さらなる成長へ向けた3つの戦略を発表し、それらの達成に向けて取り組んでいます。シリーズ第3弾となる今号では、「新興国での事業拡大」についてご紹介します。長期ビジョン「より良いヘルスケアジャーニーを、ともに。」の実現に向け、新興国において、生産・販売・サービス&サポート体制などの強化を図り、成長機会を獲得するとともに、地域の医療アクセス向上に貢献していきます。

前回・前々回の株主通信にてご紹介

成長戦略 1

既存事業の強化

ヘマトロジー・尿検査に加え、血液凝固検査・免疫検査・ライフサイエンス分野の強化による売上の伸長・収益性の改善

成長戦略 2

新規事業の拡大

メディカルロボット事業および再生細胞医療など新たな事業を拡大・強化

今回ご紹介するのはこちら

成長戦略 3

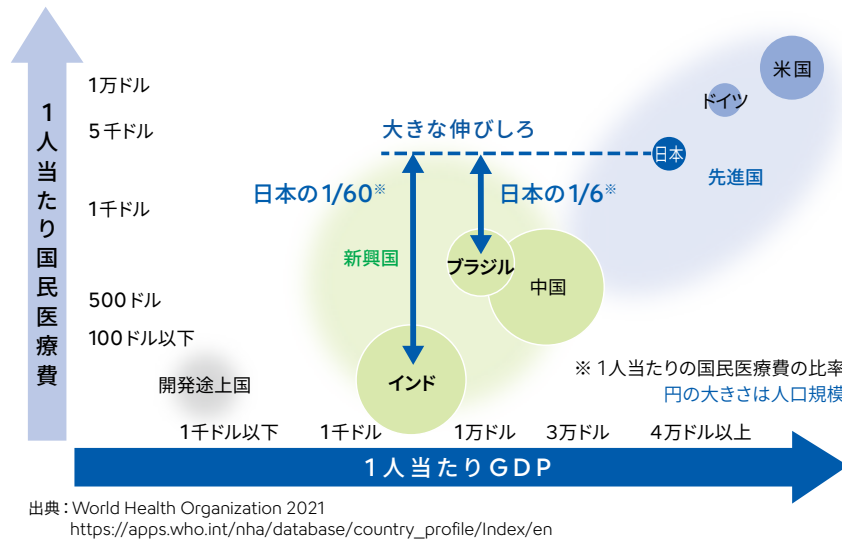
新興国での事業拡大

経済水準・医療品質の向上により、市場成長が見込まれる地域へ積極投資し、機会を獲得

市場環境

拡大を続ける、新興国のヘルスケア市場

新興国では、人口増加や経済発展に伴い、医療保険制度の整備や医療施設の新設など、医療インフラの充実が進んでいます。一方で、現在の国民一人当たりの医療費を見ると、ブラジルでは日本の約1/6、インドでは約1/60と大きな差があり、新興国のヘルスケア市場が大きな成長のポテンシャルを秘めていると言えます。



シスメックスの取り組み

主力のヘマトロジー分野で、新興国市場を切り開く

ヘマトロジー分野は、診断や治療を行う上で最も基礎的な検査であり、医療の入り口とも言われています。そのため、新興国や発展途上国においても医療インフラ整備の早い段階から設置されることが一般的です。

シスメックスは主力であるヘマトロジー分野において、小型モデルの普及などを軸に、新興国市場の開拓を推進しています。さらに、操作のトレーニングや学術情報の提供などを通じて、地域の医療品質の向上にも努めています。

こうした取り組みにより、質の高い検査を普及させることで「医療アクセスの向上*」に貢献し、結果として、シスメックスの信頼性やブランド力の強化、市場シェアの拡大につなげています。

現在、シスメックスの売上の約35%を新興国が占めています。今後もヘマトロジー分野を足がかりに、より専門的な検査である血液凝固や免疫検査など他分野への展開に加えて、ハイエンドモデル機器へのアップグレード需要の獲得などを進め、継続的な成長を目指していきます。

現地のニーズに応えた小型モデル



上位モデルのノウハウをコンパクトなボディに凝縮

- 対象** 小～中規模施設、新興国市場など
- 特長**
 - サイズを小型化し、省スペースでの設置を実現
 - 大きなタッチパネルで、わかりやすい操作性
 - 故障しにくい堅牢な設計

CL@SE UP 中期経営計画の重点地域【インド】

急成長するインド市場で積極的に事業拡大

新興国の中でもインドは、急速な人口増加や「モディケア」による医療制度の整備進展などを背景に、今後もさらなる市場成長が見込まれている地域です。

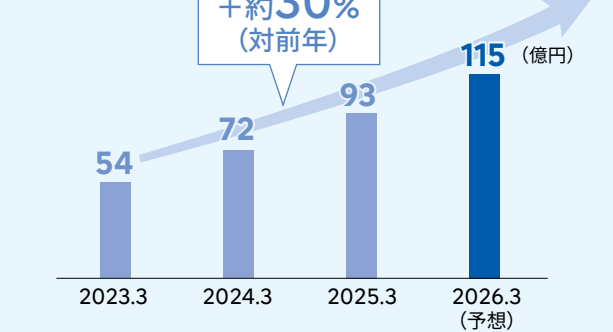
シスメックスは、1990年代と早くからヘマトロジー分野を皮切りに市場参入し、他の分野へも事業を広げてきました。2019年からはさらにヘマトロジー分野の直接販売・サービス&サポートを開始し、事業規模の拡大を推進してきました。このような取り組みの結果、2025年3月期の売上伸長率は対前年約30%となり、高い成長率を継続しています。

今後は、都市部に加えて地方や農村部などへも販売・サービスエリアをさらに拡大するとともに、インド市場向け製品の開発など、より積極的な投資を進めていきます。

インド事業の変遷

1993年	代理店契約締結。販売サービス体制拡充
1998年	合弁会社設立（2008年完全子会社化）
2007年	パディに試薬生産工場設立
2012年	尿検査分野の直販開始
2014年	血液凝固・生化学検査分野の直販開始
2019年	ヘマトロジー分野の直販開始
2019年	ムンバイにトレーニングセンターを設置
2025年	新生産拠点の稼働開始

売上高の推移



市場の需要に応え、新たな生産拠点を稼働

インドにおける検査需要の拡大を見据え、2025年4月、グループ最大規模となる海外生産拠点をグジャラート州にオープンしました。この新拠点は、機器と試薬の両方を生産できる機能を備えています。

機器生産においては、インド政府が推進する「Make in India」政策*に対応するため、現地調達部品を一部活用した機器生産体制を構築しました。また、インドにおいても高い品質を実現するため、日本の生産拠点「アイスクエア」で確立された生産プロセスやシステムを導入するとともに、従業員の一部研修を日本の生産拠点で実施しました。

試薬生産では、品目数を大幅に増やすことで検査需要に対応し、インドにおける事業展開を加速していきます。



*医療アクセスの向上：持続可能な社会の実現とシスメックスの持続的な成長に向けて、優先的に取り組むべき課題（マテリアリティ）に掲げているテーマの一つ。

*「Make in India」政策：2014年にインド政府が打ち出した製造業振興の経済政策。インド国内でのモノづくりを促進するため、対外的には特定製品への関税引き上げなど、国産品を優遇する取り組みを実施している。

会社概要 (2025年3月31日現在)

- 商号 シスメックス株式会社
SYSMEX CORPORATION
- 設立年月日 1968年2月20日
- 資本金 148億8,782万円
- 格付け AA- (R&I:格付投資情報センター)
- 従業員数 11,457名(連結) 3,400名(単独)
*嘱託・パートタイマーなどを含む
- 主な事業内容 臨床検査機器、検査用試薬ならびに関連ソフトウェアなどの開発・製造・販売・輸出入

■役員 (2025年6月27日現在)

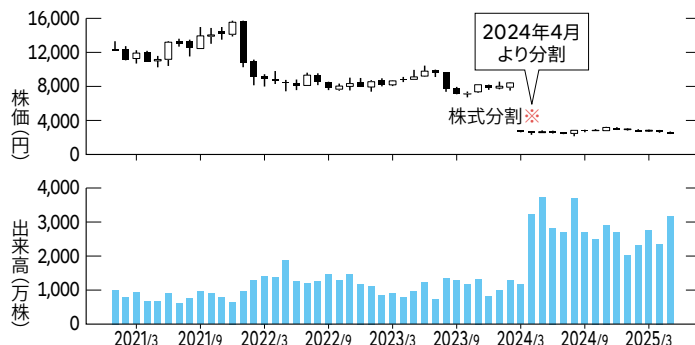
代表取締役会長 グループCEO	いえ つか ひさし 家次 恒
代表取締役社長	あさ の かおる 浅野 薫
取締役 専務執行役員	たちばな けん じ 立花 健治 まつい いわ ね 松井 石根
取締役 常務執行役員	よしだ とも かず 吉田 智一 おの たかし 小野 隆
社外取締役	おおた かず お 太田 和男 いのう はる お 井上 治夫 ふじおか ゆ 佳 藤岡 由佳 おおしま まり 大島 まり
取締役 (監査等委員)	あらまき とも お 新牧 智夫
社外取締役 (監査等委員)	はしもと かず まさ 橋本 和正 いわさ みち ひで 岩佐 道秀

上席 執行役員	いいづか けん すけ 飯塚 健介 フランク ブッシャー Frank Buescher かながわ みつ ひさ 金川 晃久
執行役員	ホウ サク キ 彭 作輝 アラン バベルレル Alain Baverel わたなべ れい こ 渡辺 玲子 わたなべ かおる 渡辺 薫 なが い たか あき 長井 孝明 うち橋 きん や 内橋 欣也 アンディー ヘイ Andy Hay まつお なお ひこ 松尾 直彦 つじもと けん じ 辻本 研二

株式の状況 (2025年3月31日現在)

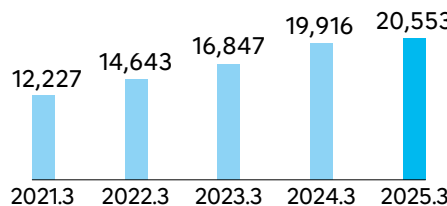
- 発行可能株式総数 1,796,064,000株
- 発行済株式総数 629,473,176株

■株価・出来高の推移 (2025年5月31日現在)

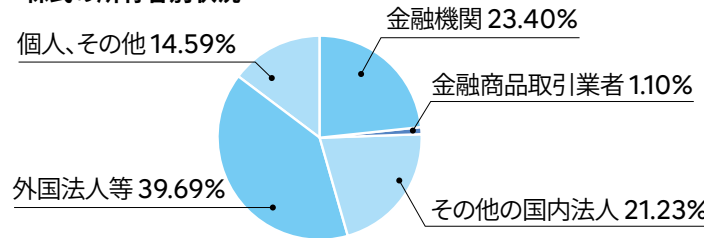


※2024年4月1日付で、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しました。株数数は分割後の株式です。

■株主数の推移 (人)



■株式の所有者別状況



CM公開のお知らせ

シスメックスのCMシリーズ「血液検査から、つぎの医療を考える。—ドラキュラとの出会い篇/公園篇/空港篇—」を公開しています! 血液のことならなんでも知っている謎の人物「ドラキュラさん」。その行動を追いかける、好奇心旺盛なお医者さんの目線を通じて、当社が何をしている企業なのかが紐解かれていきます。

▶▶ <https://www.sysmex.co.jp/ad.html>

ぜひこちらの
特設サイトから
ご覧ください!



株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
- 上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場
- 証券コード 6869
- 単元株式数 100株

株式事務について

※証券会社に口座がある株主様はお引取の証券会社へお問合せください。

■株主名簿管理人 (および特別口座 口座管理機関)

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〈連絡先〉TEL 0120-094-777 (通話料無料)
(土・日・祝日等を除く午前9時~午後5時)
〈ホームページ〉<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>
よくあるご質問は右記2次元コードからご確認ください。



お知らせ

1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取り扱いいたします。 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

